

## 「観光立国と観光庁に関する特別世論調査」の概要

平成 20 年 11 月 27 日  
内閣府政府広報室

調査概要	調査対象	全国 20 歳以上の者 3,000 人
	有効回収数(率)	1,853 人 (61.8%)
	調査時期	平成 20 年 10 月 16 日～10 月 26 日
	調査方法	調査員による個別面接聴取
調査目的	観光立国と観光庁に関する国民の意識を調査し、今後の施策の参考とする。	
調査項目	<ol style="list-style-type: none"><li>1 観光庁の認知度</li><li>2 訪日外国人旅行者数に対する実感</li><li>3 訪日外国人旅行者が増加することについて</li><li>4 訪日外国人旅行者を増加させるために特に重要だと思う施策</li><li>5 国内旅行に行きたいと思うようになるための条件</li><li>6 観光立国の実現に向けて特に重要だと思う観光庁の施策</li></ol>	
調査実績	観光立国に関する特別世論調査（平成 16 年 5 月）	

<お願い>

本資料の内容を引用された場合、その掲載部分の写しを  
下記宛にご送付ください。

内閣府大臣官房政府広報室  
世論調査担当

〒100-8914 東京都千代田区永田町 1-6-1  
電話 03(3581)0070  
FAX 03(3580)1186

# 「観光立国と観光庁に関する特別世論調査」の要旨

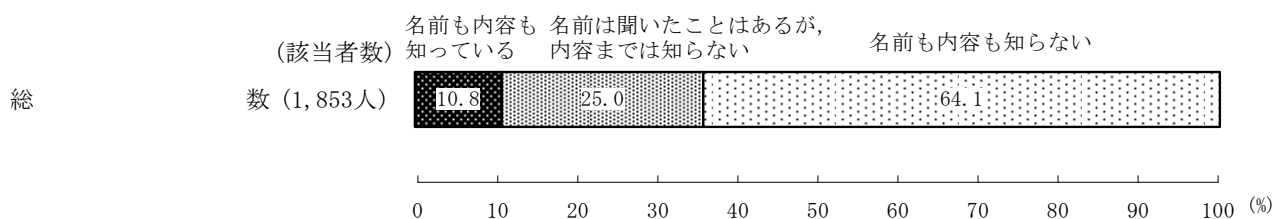
平成 20 年 11 月  
内閣府政府広報室

調査時期：平成 20 年 10 月 16 日から平成 20 年 10 月 26 日  
調査対象：全国 20 歳以上の者 3,000 人  
有効回収数(率)：1,853 人 (61.8%)

## 1 観光庁の認知度

平成 20 年 10 月

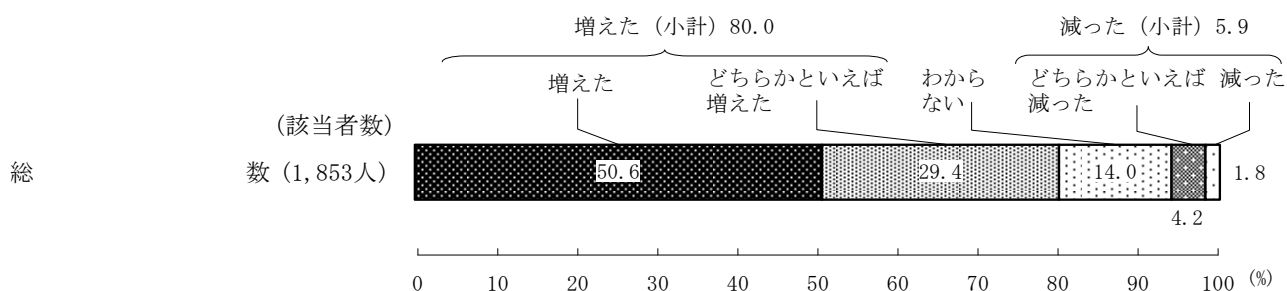
- ・名前も内容も知っている 10.8%
- ・名前は聞いたことはあるが、内容までは知らない 25.0%
- ・名前も内容も知らない 64.1%



## 2 訪日外国人旅行者数に対する実感

平成 20 年 10 月

- ・増えた (小計) 80.0%
  - ・増えた 50.6%
  - ・どちらかといえば増えた 29.4%
- ・減った (小計) 5.9%
  - ・どちらかといえば減った 4.2%
  - ・減った 1.8%
- ・わからない 14.0%

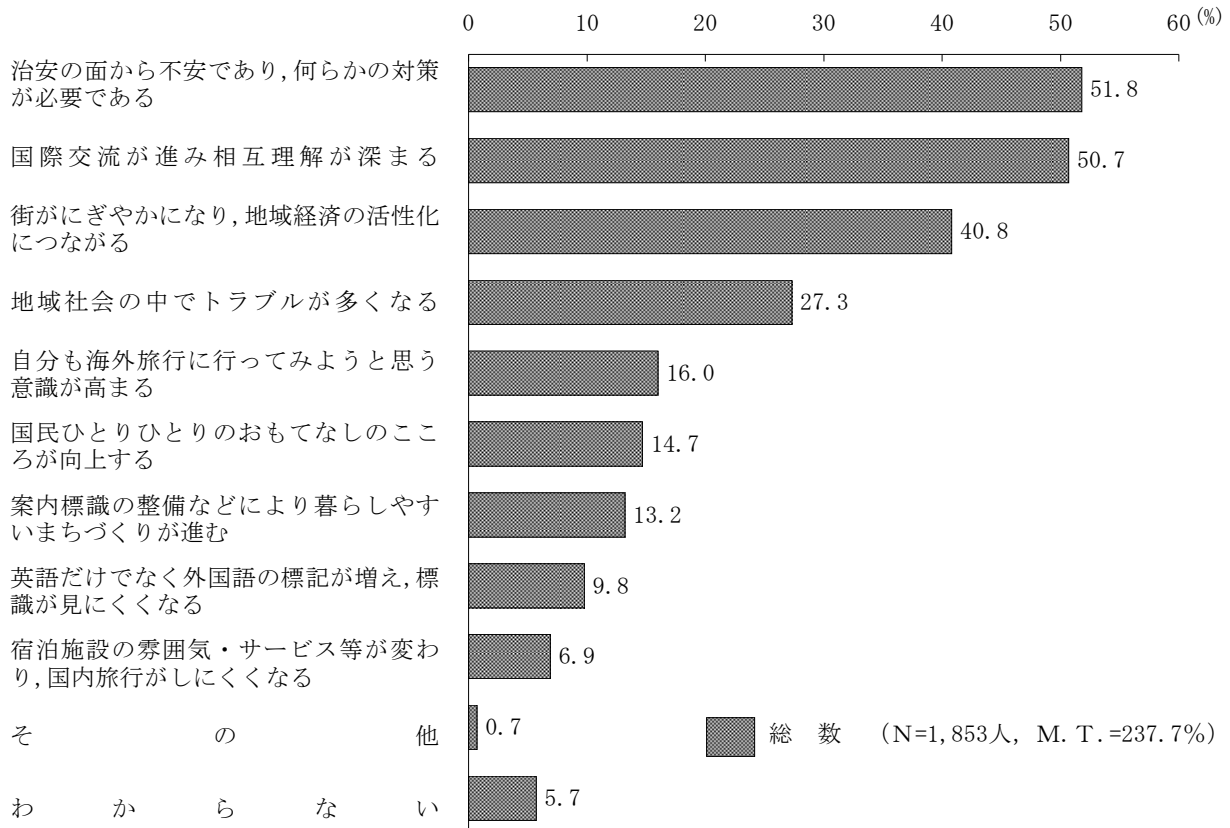


### 3 訪日外国人旅行者が増加することについて（複数回答）

平成 20 年 10 月

- ・ 治安の面から不安であり、何らかの対策が必要である 51.8%
- ・ 国際交流が進み相互理解が深まる 50.7%
- ・ 街がにぎやかになり、地域経済の活性化につながる 40.8%
- ・ 地域社会の中でトラブルが多くなる 27.3%

(複数回答)

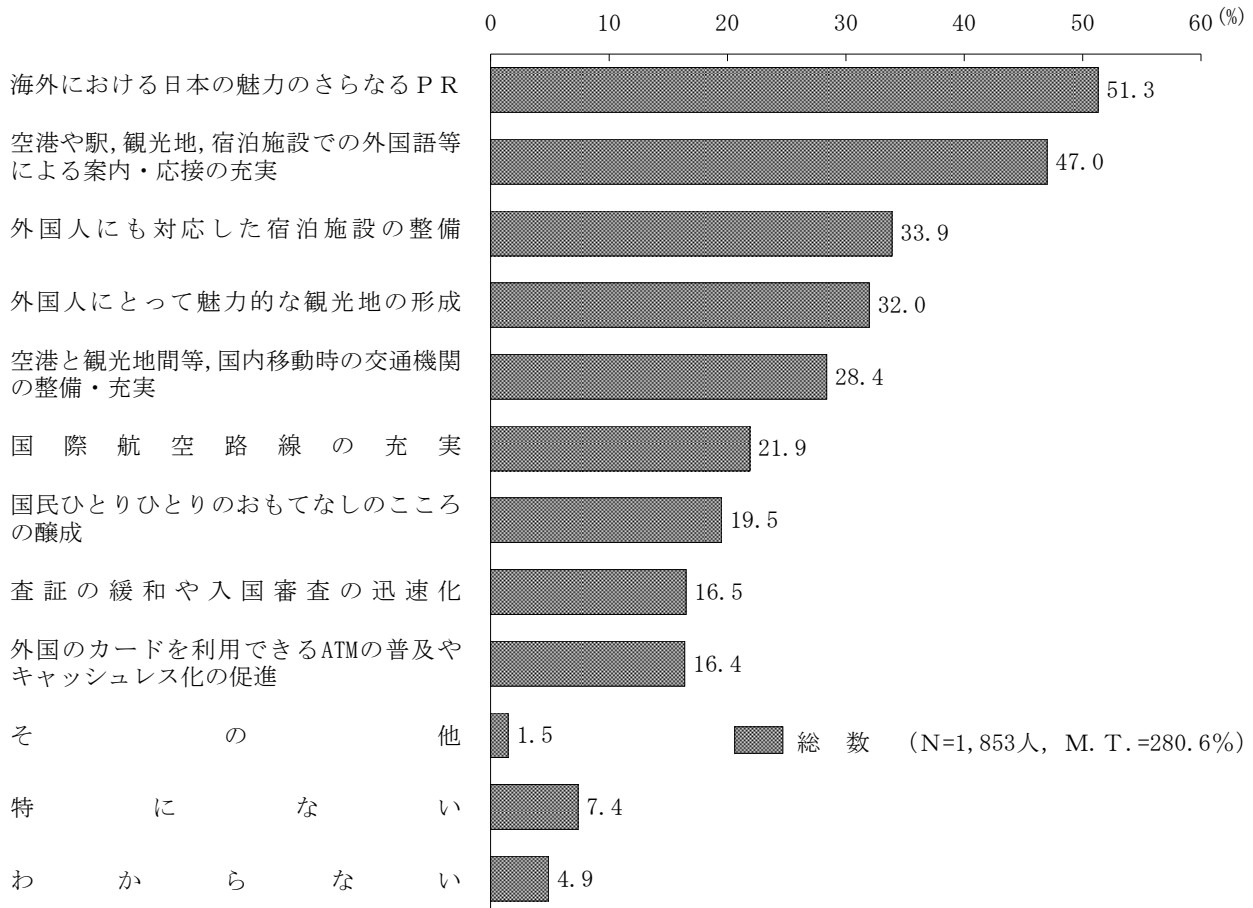


4 訪日外国人旅行者を増加させるために特に重要だと思う施策（複数回答）

平成 20 年 10 月

- ・海外における日本の魅力のさらなる P R 51.3%
- ・空港や駅, 観光地, 宿泊施設での外国語等による案内・応接の充実 47.0%
- ・外国人にも対応した宿泊施設の整備 33.9%
- ・外国人にとって魅力的な観光地の形成 32.0%

(複数回答)



〔参考 1〕 外国人旅行者のために行うべき環境整備

	該当者数	外国人語の案内標識など外国人にもわかりやすい観光案内の整備	国民一人一人の親切な応対	空港や駅, 観光地, 宿泊施設での外国語等による案内・応接の充実	査証の緩和や入国審査の迅速化	クレジットカードの普及やキャッシュレス化の促進	その他	特にない	わからない	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成 16 年 5 月 調査	2,075	72.0	42.7	25.0	24.0	7.0	1.0	3.8	5.5	181.0

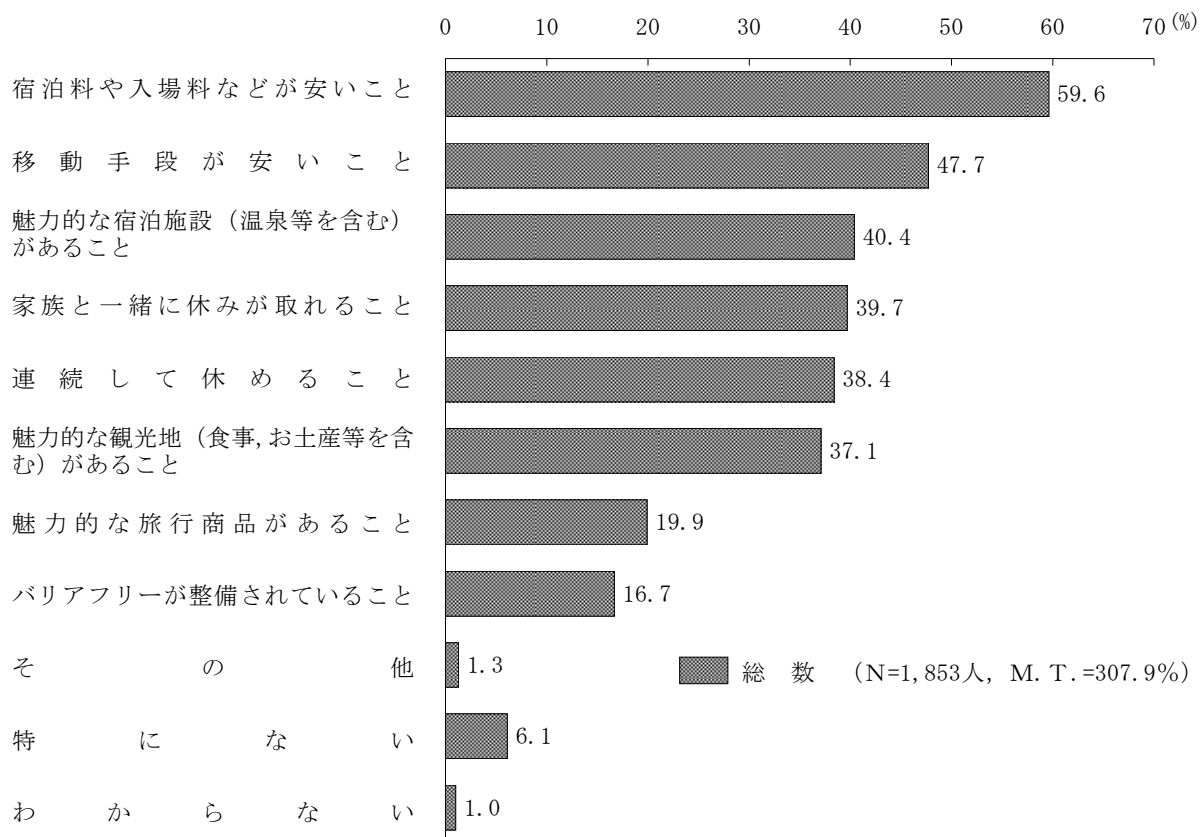
注) 「あなたは、日本を訪れた外国人旅行者にとって、日本が便利で快適な観光ができる国となるために、政府が行うべき環境整備は何であると思いますか。」と聞いている。

5 国内旅行に行きたいと思うようになるための条件（複数回答）

平成 20 年 10 月

- ・ 宿泊料や入場料などが安いこと 59.6%
- ・ 移動手段が安いこと 47.7%
- ・ 魅力的な宿泊施設（温泉等を含む）があること 40.4%
- ・ 家族と一緒に休みが取れること 39.7%
- ・ 連続して休めること 38.4%
- ・ 魅力的な観光地（食事、お土産等を含む）があること 37.1%

（複数回答）

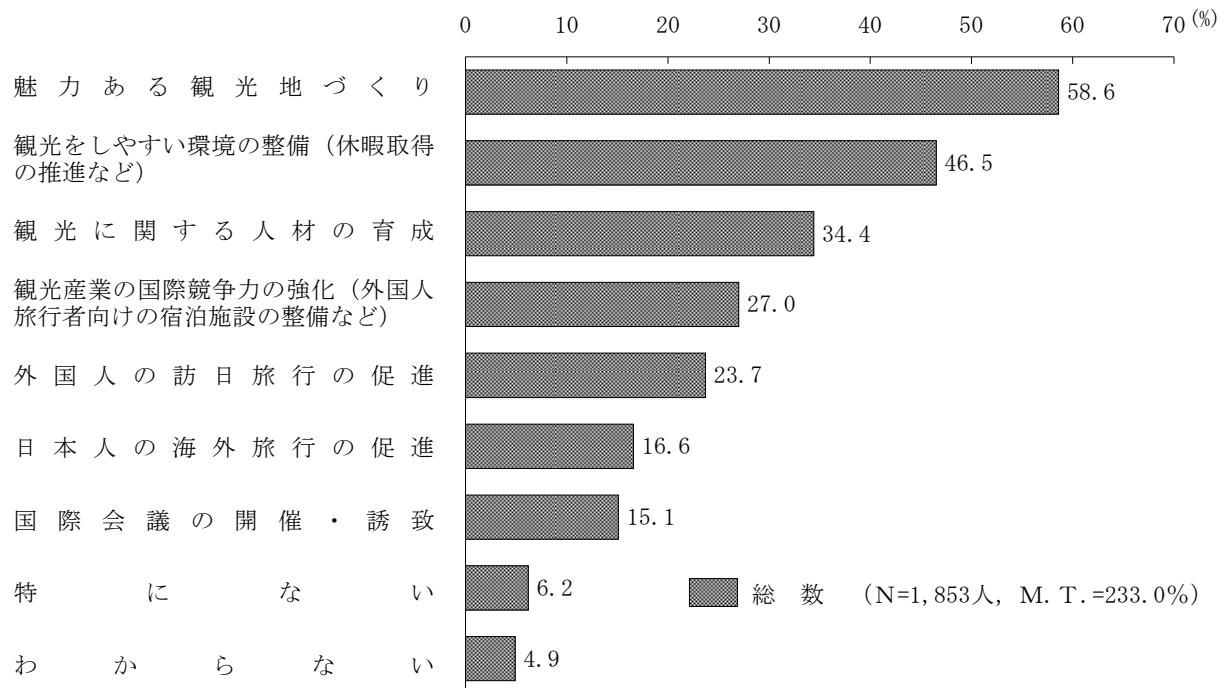


6 観光立国の実現に向けて特に重要だと思う観光庁の施策（複数回答）

平成 20 年 10 月

- ・魅力ある観光地づくり 58.6%
- ・観光をしやすい環境の整備（休暇取得の推進など） 46.5%
- ・観光に関する人材の育成 34.4%
- ・観光産業の国際競争力の強化 27.0%  
（外国人旅行者向けの宿泊施設の整備など）

（複数回答）



〔参考 2〕 「観光立国」実現のための要望

	該 当 者 数	個 性 あ る 地 域 づ く り の 支 援	観 光 振 興 に 向 け た 人 材 の 育 成	国 民 の 一 人 一 人 が 観 光 立 国 的 運 動 を 認 識	交 通 イン フラ の 整 備 に よ る 地 域	国 民 の 休 暇 の 長 期 連 続 化 ・ 分 散	電 線 の 地 中 化 な ど 美 し い 景 観 の	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成 16 年 5 月 調査	2,075	42.0	40.6	34.8	23.1	21.5	17.8	0.6	4.7	7.4	192.5

注) 『あなたは、今後、「観光立国」を実現し、国内および海外からの観光客を増やすために、政府はどのようなことを充実する必要があると思いますか。』と聞いている。

## 観光立国と観光庁に関する特別世論調査

調査時期：平成20年10月16日から10月26日  
調査対象：全国20歳以上の者3,000人  
有効回収数(率)：1,853人(61.8%)

話は変わりますが、次に時事問題として「観光立国と観光庁」についてお伺いします。

(以下の質問は、次の【資料】を提示してよく見てもらってから質問する)

### 【資料】

政府では、21世紀の我が国経済社会の発展のために、観光を国づくりの柱とする「観光立国の実現」を目指しています。国際相互理解の増進と地域経済の活性化を図るため、2010年までに日本を訪れる外国人旅行者を1千万人にする(昨年2007年は835万人となり過去最高)、国内旅行消費額を30兆円にすることなどを目標としています。

また、観光立国の実現に向けて、政府内の中心的組織となる「観光庁」が、10月1日に発足しました。

Q1【回答票21】10月1日に発足した「観光庁」をご存じですか。この中から1つだけお答えください。

- (10.8) (ア) 名前も内容も知っている
- (25.0) (イ) 名前は聞いたことはあるが、内容までは知らない
- (64.1) (ウ) 名前も内容も知らない

Q2【回答票22】日本を訪れる外国人旅行者数について数年前と比べてどのような実感をもっていますか。この中から1つだけお答えください。

- (50.6) (ア) 増えた
- (29.4) (イ) どちらかといえば増えた
- (4.2) (ウ) どちらかといえば減った
- (1.8) (エ) 減った
- (14.0) (オ) わからない

Q3【回答票23】訪日外国人旅行者が増加することについてどのようにお考えですか。この中からいくつでもお答えください。(M.A.)

- (50.7) (ア) 国際交流が進み相互理解が深まる
- (14.7) (イ) 国民ひとりひとりのおもてなしのところが向上する
- (40.8) (ウ) 街がにぎやかになり、地域経済の活性化につながる
- (13.2) (エ) 案内標識の整備などにより暮らしやすいまちづくりが進む
- (16.0) (オ) 自分も海外旅行に行ってみようと思う意識が高まる
- (51.8) (カ) 治安の面から不安であり、何らかの対策が必要である
- (27.3) (キ) 地域社会の中でトラブルが多くなる
- (9.8) (ク) 英語だけでなく外国語の標記が増え、標識が見にくくなる
- (6.9) (ケ) 宿泊施設の雰囲気・サービス等が変わり、国内旅行がしにくくなる
- (0.7) (コ) その他 ( )
- (5.7) (カ) わからない

(M. T. =237.7)

Q 4 [回答票 24] 訪日外国人旅行者を増加させるために、我が国としてどのような施策を進めることが特に重要だと思いますか。この中から**いくつでも**あげてください。(M. A.)

- (51.3) (ア) 海外における日本の魅力のさらなるPR
- (47.0) (イ) 空港や駅、観光地、宿泊施設での外国語等による案内・応接の充実
- (21.9) (ウ) 国際航空路線の充実
- (28.4) (エ) 空港と観光地間等、国内移動時の交通機関の整備・充実
- (16.4) (オ) 外国のカードを利用できるATMの普及やキャッシュレス化の促進
- (16.5) (カ) 査証の緩和や入国審査の迅速化
- (33.9) (キ) 外国人にも対応した宿泊施設の整備
- (32.0) (ク) 外国人にとって魅力的な観光地の形成
- (19.5) (ケ) 国民ひとりひとりのおもてなしのこころの醸成
- ( 1.5) その他 ( )
- ( 7.4) 特にない
- ( 4.9) わからない

(M. T. =280.6)

---

Q 5 [回答票 25] どのようなことがあれば、あなたは国内旅行に行きたいと思うようになりますか。この中から**いくつでも**あげてください。(M. A.)

- (38.4) (ア) 連続して休めること
- (39.7) (イ) 家族と一緒に休みが取れること
- (47.7) (ウ) 移動手段が安いこと
- (59.6) (エ) 宿泊料や入場料などが安いこと
- (19.9) (オ) 魅力的な旅行商品があること
- (37.1) (カ) 魅力的な観光地(食事、お土産等を含む)があること
- (40.4) (キ) 魅力的な宿泊施設(温泉等を含む)があること
- (16.7) (ク) バリアフリーが整備されていること
- ( 1.3) その他 ( )
- ( 6.1) 特にない
- ( 1.0) わからない

(M. T. =307.9)

---

Q 6 [回答票 26] 観光庁が取り組む次の施策のうち、観光立国の実現に向けて特に重要だと思うものを、**いくつでも**あげてください。(M. A.)

- (23.7) (ア) 外国人の訪日旅行の促進
- (15.1) (イ) 国際会議の開催・誘致
- (16.6) (ウ) 日本人の海外旅行の促進
- (58.6) (エ) 魅力ある観光地づくり
- (46.5) (オ) 観光をしやすい環境の整備(休暇取得の推進など)
- (27.0) (カ) 観光産業の国際競争力の強化(外国人旅行者向けの宿泊施設の整備など)
- (34.4) (キ) 観光に関する人材の育成
- ( 6.2) 特にない
- ( 4.9) わからない

(M. T. =233.0)